Searching PAJ Page 1 of 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 2002–262468 (43)Date of publication of application: 13.09.2002

(51)Int.Cl. H02J 7/00 H01M 10/44

H02J 17/00

(21)Application number: 2001-401058 (71)Applicant: SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD

(22)Date of filing: 28.12.2001 (72)Inventor: PARK SEO-YOUNG

PARK SANG-KYU CHOI BYOUNG-CHO CHA HEON-YOUNG

(30)Priority

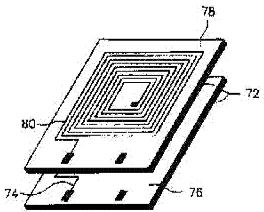
Priority number: 2001 200100512 Priority date: 05.01.2001 Priority country: KR

(54) CORELESS TRANSFORMER OF ULTRA THIN PRINTED CIRCUIT BOARD AND CONTACTLESS BATTERY CHARGER UTILIZING IT

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a new transformer which does not hinder miniaturization of a mobile terminal unit and a contactless battery charger utilizing the new transformer.

SOLUTION: The contactless battery charger using the PCB transformer 72 is constituted of a converter 100 which applies a normal power supply to the primary side 76 of the PCB transformer 72 by converting it to high frequency rectangular wave, and a battery charger which applies direct current to the charging circuit by converting an electromotive force induced at the coil of the secondary side 78 of the PCB transformer 72 by a magnetic field generated by square wave which is applied to the primary side 76 of the PCB transformer 72.



(19)日本国特新庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出屬公開番号 特開2002-262468 (P2002-262468A)

(43)公開日 平成14年9月13日(2002.9.13)

(51) Int.CL?		識別記号	ΡI	f-73-}*(参考)
H02J	7/00	301	H02J 7/00	301D 5G003
H01M	10/44		H 0 1 M 10/44	Q 5H030
H02J	17/00		H 0 2 J 17/00	B

育 朱術春馨 辦求項の数22 OL (全 6 頁)

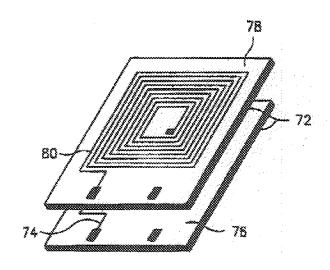
390019839
三星帽子株式会社
大韓民國京選道水源市八逢区梅雞河416
朴 酱水
大韓民国京畿道平澤市西井洞62番地7號
朴 閩圭
大韓民国京畿道杲川市中央洞(番地なし)
住公アパート1 圏地112棟204號
崔杨朝
大韓民国大邱廣城市賽城區多月隔464番地
沙月ポスンタウン108棟201號
100064908
弁理士 志賀 正武 (外1名)
最終質に続く

(54) 【発明の名称】 コアレス超棒型プリント回路基板変圧器及びそれを利用した無接点パッテリ充電器

(57)【要約】

【課題】 移動端末機のサイズの小型化を制約しない新 しい変圧器及び前記新しい変圧器を利用する無接点パッ テリ充電器を提供する。

【解決手段】 PCB変圧器72を使用する無接点バッ テリ充電器は、常用電源を高周波方形波に変換してPC B変圧器72の1次側76に印加する変換器100と、 PCB変圧器72の1次側76に印加された方形波が発 生した磁界によってPCB変圧器72の2次側78の巻 線に誘導された起電力を直流に変換して充電回路に印加 する充電器と、から構成される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯用電子装置を充電するためのバッテ リ充電器に使用されるプリント回路基板変圧器におい ٣,

巻線が設置された第1プリント回路基板と、巻線が設置 され、前記第1プリント回路基板から平行に垂直方向に 一定の間隔を置いて配置された第2プリント回路基板 と、から構成されることを特徴とするブリント回路基板 变圧器。

【請求項2】 前記第1ブリント回路基板は変圧器の1 10 電器。 次側を構成し、前記第2プリント回路基板は変圧器の2 次側を構成することを特徴とする請求項1記載のプリン 卜回路基板変圧器。

【請求項3】 前記巻線は、前記各ブリント回路基板の 表面の中央から放射状に設置されることを特徴とする譜 求項1または請求項2記載のプリント回路基板変圧器。

【請求項4】 無接点バッテリ充電器において、

ブリント回路基板変圧器の1次側を備え、常用電源を高 周波方形波に変換した後、前記変換された方形波を前記 プリント回路基板変圧器の1次側に印加する変換器と、 入力電圧をより低い電圧に変換してバッテリに供給する 充電回路及びプリント回路基板変圧器の2次側を備え、 前記プリント回路基板変圧器の1次側に印加された方形 波が発生した磁界によって前記プリント回路基板変圧器 の2次側の巻線に誘導された起電力を直流に変換して前 記充電回路に印加する充電器と、から構成されることを 特徴とする無接点バッテリ充電器。

【請求項5】 前記充電器は、バッテリバックの内部に 設置されることを特徴とする請求項4記載の無接点バッ テリ充電器。

【請求項6】 前記プリント回路基板変圧器の2次機 は、前記パッテリパックの内部の表面に装着されること を特徴とする請求項5記載の無接点パッテリ充電器。

【請求項7】 前記変換器は、前記常用電源を整流して 直流に変換する整流回路と、前記直流電圧を高周波方形 波に変換して前記プリント回路基板変圧器の1次側に印 加するインパータと、から構成されることを特徴とする 請求項4記載の無接点パッテリ充電器。

【請求項8】 前記整流回路は、常用電源入力端に接続 されるダイオード整流器と、前紀ダイオード整流器と前 40 記インバータとの間に接続される出力キャパシターと、 から構成されることを特徴とする無接点バッテリ充電

【請求項9】 前紀パッテリの電圧及び電流を感知し、 前記感知された信号に基づいて所定の制御信号を発生し て前記充電回路に供給する制御及び監視回路をさらに備 えることを特徴とする請求項4記載の無接点パッテリ充 \$ 30°

【請求項10】 前記制御及び監視回路は、前記パッテ リの電圧を感知することで前紀パッテリの充放電状態を 50

点検し、前記パッテリの状態に対する情報を、前記パッ テリから動作電源の供給を受ける通信端末機の内部に伝 達することを特徴とする請求項9記載の無接点バッテリ 充電器。

【請求項11】 前記バッテリの電圧を感知して前記バ ッテリの充放電状態を点検し、前記パッテリ状態に対す る情報を、前記パッテリから動作電源の供給を受ける通 信端末機の内部に伝達する制御及び監視回路をさらに備 えることを特徴とする請求項4記載の無接点バッテリ充

【請求項12】 前記バッテリは、リチウムイオンバッ テリであることを特徴とする請求項4記載の無接点バッ テリ充電器。

【請求項13】 前記変換器は、ハーフブリッジ直列共 振インバータであることを特徴とする譜求項7記載の無 接点パッテリ充電器。

【請求項14】 前記インバータは、入力電圧を二分す るための2つのキャパシターと、スイッチング作用によ って前記二分された電圧を方形波に変換する2つのスイ ッチと、磁気コアを使用し、前記プリント回路基板変圧 器の1次側に印加される方形波のサイズを小さくする降 圧変圧器と、から構成されることを特徴とする請求項1 3 記載の無接点バッテリ充電器

【請求項15】 前記各スイッチは、モス型電界効果ト ランジスタスイッチであることを特徴とする請求項14 記載の無接点バッテリ充電器。

【請求項16】 前記2つのスイッチの接続点と前記降 圧変圧器の1次側との間に直流成分を遮断するためのキ ャパシターをさらに備えることを特徴とする請求項14 30 記載の無接点パッテリ充電器。

【請求項17】 前記降圧変圧器の2次側と前記プリン ト回路基板変圧器の1次側との間に接続され、前記プリ ント回路基板変圧器の漏れインダクタンスと結合して直 列共振回路を形成する共振キャパシターをさらに備える ことを特徴とする請求項14記載の無接点バッテリ充電

【請求項18】 前記プリント回路基板変圧器は、中央 から放射状に巻線が設置された第1プリント回路基板 と、中央から放射状に巻線が設置され、前記第1プリン ト回路基板から平行に垂直方向に一定の間隔を置いて配 置された第2プリント回路基板と、から構成されること を特徴とする請求項4記載の無接点バッテリ充電器。

【請求項19】 前記第1プリント回路基板は変圧器の 1次側を構成し、前記 第2プリント回路基板は変圧器 の2次側を構成することを特徴とする請求項18記載の 無接点バッテリ充電器。

【請求項20】 前記パッテリパックは、携帯電話に装 着され、充電された電圧を内部バッテリに前記携帯電話 の動作電源として供給することを特徴とする請求項5記 載の無接点バッテリ充電器。

【請求項21】 前記通信端末機は、携帯電話であることを特徴とする請求項10または請求項11記載の無接点バッテリ充電器。

【請求項22】 第1プリント回路基板上に中央から放射状に巻線が設置されたプリント回路基板変圧器の1次側、常用電源を整流して直流電圧に変換する整流回路、及び前記直流電圧を高周波方形波に変換して前記プリント回路基板変圧器の1次側に印加するインバータを備える変換器と、

前記第1プリント回路基板から平行に垂直方向に一定の 18 間隔を置いて配置された第2プリント回路基板上に中央 から放射状に巻線が設置されたプリント回路基板変圧器 の2次側、入力電圧をより低い電圧に変換してパッテリ に供給する充電回路、及び前記プリント回路基板変圧器 の1次側に印加された方形波が発生した磁界によって前 記プリント回路基板変圧器の2次側の巻線に誘導された 起電力を直流に変換して前記充電回路に印加する整流回 路を有する充電器と、から構成されることを特徴とする 無接点バッテリ充電器。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、バッテリ充電器に 関し、特に、無接点バッテリ充電器に関する。

[0002]

【従来の技術】携帯電話、携帯情報端末(PDA)、パームトップ(Palm-top)コンピュータ、インターネットフォンなどのような携帯用情報通信及び演算機器は、充電パッテリをエネルギー源として使用するので、基本的にパッテリ充電器を必要とする。

【0003】現在、一般に用いられているのデスクトップ及び携帯用充電器は、バッテリとバッテリ充電器とを電気的に接触させる接触型の充電方式を採択している。 しかしながら、接触型充電器は、幾つかの解決すべき問題点を有している。

【0004】第1に、接触不良による充電不良及びバッテリの寿命短縮の問題がある。第2に、充電器及び通信機器が湿気やほこりに曝される場合、システムの性能が低下する。第3に、外部に露出している充電用金属端子が使用者の衣服と接触する時に発生する静電気によって、通信機器の誤動作が発生するようになり、製品の信40額性が低下する。

【0005】前記のような問題点を解決するために、電気的に接触せずに、磁気結合を利用してバッテリを充電する無接点充電方式の適用のための研究が進んでいる。 携帯用通信機器のために適用される前記のようなバッテリ充電器の場合、磁気コアを使用する従来の変圧器を磁気結合の媒体として使用する。この場合、磁気コアを使用して製作された変圧器の2次側が携帯用情報機器の内部に装着されるべきであるが、そうすると、前記携帯用情報機器のサイズが大きくなり、前記通信機器の形態も 50

制約を受けるようになる。さらに、応用システムの機械 的な強度も低下する。

[0006]

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明の目的は、磁気コアの不使用により、移動端末機のサイズの小型化を制約しない新しい変圧器を提供することにある。 【0007】本発明の他の目的は、前記新しい変圧器を利用する無接点パッテリ充電器を提供することにある。 【0008】

【課題を解決するための手段】前記のような目的を達成するために、本発明の第1実施形態による超薄型プリント回路基板 (Printed Circuit Board:以下、PCBと称する)変圧器は、第1巻線が設置された第1プリント回路基板と、第2巻線が設置され、前記第1プリント回路基板から平行に垂直方向に一定の間隔を置いて配置された第2プリント回路基板と、から構成されることを特徴とする。

【0009】前記のような目的を達成するために、本発明の第2実施形態による無接点バッテリ充電器は、PC 8変圧器の1次側を備え、常用電源を高周波方形波に変換して前記PCB変圧器の1次側に印加する変換器と、 入力電圧をより低い電圧に変換してバッテリに供給する 充電回路及びPCB変圧器の2次側を備え、前記PCB 変圧器の1次側に印加された方形波が発生した磁界によって前記PCB変圧器の2次側の巻線に誘導された起電力を直流に変換して前記充電回路に印加する充電器と、 から構成されることを特徴とする。

[0010]

【発明の実施の形態】以下、本発明による好適な一実施 形態を添付図面を参照しつつ詳細に説明する。なお、図 面中、同一な構成要素及び部分には、可能な限り同一な 符号及び番号を共通使用するものとする。そして、以下 の説明では、具体的な回路の構成素子が示されている が、これに限られることなく本発明を実施できること は、当技術分野で適常の知識を有する者には自明であ る。また、下記説明において、本発明の要旨を明確にす るために関連した公知機能または構成に対する具体的な 説明は省略する。

【0011】本発明は、磁気コアを使用せず、一般的な PCB回路上に変圧器の巻線を設置したPCB変圧器を 使用してパッテリの無接点充電を具現する方法及び無接 点パッテリ充電器の回路構成に関する。

【0012】図1は、本発明の実施形態によるPCB変圧器の構造を示す。図1のように、PCB回路に巻線を設置した変圧器の1次側及び2次側を、平行に垂直方向に一定の間隔を置いて配置すると、PCB変圧器72の1次側76及び2次側78が避気的に結合されて、無接点充電を可能とする。前記PCB変圧器72の長所は、変圧器を琴型(low-profile)に製作することができ、変圧器のサイズ及び形態を応用機器に応じて変形すること

ができることにある。さらに、前記PCB変圧器72 は、磁気コアを使用しないため、コストが低廉で、機械 的な強度が非常に高い。また、前記PCB変圧器72を フレキシブルPCB (flexible PCB)を使用して製作する と、変圧器の重量及び高さをさらに低減することができ

[0013] 図2は、図1のPCB変圧器を利用した機 帯電話用の無接点パッテリ充電器の側面図である。変換 器100は、常用電源を前記PCB変圧器72の駆動に 適合した高周波方形波 (square wave) に変換する。前記 変換器100の上面には図1のPCB変圧器72の1次 側76が装着される。

【0014】バッテリパック300の表面に図1のPC B変圧器72の2次側78を設置する。また、バッテリ 充電及び制御のために必要な回路を小型に製作して、前 記バッテリバック300の内部に装着する。

【0015】図2に示すように、前紀パッテリパック3 00付きの携帯電話200を、前記パッテリパック30 0が下向きになるように前記変換器100の上面に置い て、前記バッテリバック300に無接点充電が始まるよ 20 うにする。充電は、接触子140及び340を通して遂 行される。

【0016】前記のような充電方式は、現在使用されて いる携帯電話やバッテリパックの形態及びサイズに大き な影響を与えずに、無接点充電を可能にする。この充電 方式は、携帯電話だけでなく、PDA、パームトップ、 及びインターネットフォンなどの携帯用情報通信及び演 算機器に適用することができる。

【0017】図3は、図1のPCB変圧器72の2次側 78をバッテリバック300の表面に装着した状態を示 30 す。図4は、本発明の実施形態による携帯電話用の無接 点バッテリ充電器の構成を示す。

【0018】前記無接点バッテリ充電器は、前記PCB 変圧器72の1次側76を含む変換器100と、前記P CB変圧器72の2次個78を含む充電器とから構成さ Mã.

【0019】前記PCB変圧器72の2次側78は、前 記パッテリパック300の表面に装着され、前記充電器 に関連した回路は、前記パッテリパック300の内部に 設置される。前記パッテリパック300の内部に点線で 40 表示される部分が充電器である。

【0020】前記変換器100は、ダイオード整流器D 1万至D4、出力キャパシター(output capacitor) C 1、インパータ (inverter) 1 1 0、及びPCB変圧器 7 2の1次側76から構成される。

[0021] 前記変換器100に印加された常用電源V sは、前記ダイオード整流器D1万至D4及び出力キャ パシターC1から構成された整流回路を経て直流に変換 された後、前記インバータ110の入力端に印加され る。前記インバータ110に印加された直流電圧は、高 50

周波方形波に変換された後、前記PCB変圧器 7 2 の 1 次側76に印加される。

【0022】前記PCB変圧器72の1次網76に印加 された方形波は、磁界 (magnetic field)を発生し、この 磁界は、前記PCB変圧器72の2次側78の巻線80 に起電力を誘導する。前記PCB変圧器72の2次側7 8の巻線80に誘導された前記起電力は、ダイオード整 流器D5万至D8及びキャパシターC2から構成される 整流回路によって直流に変換されて充電回路320に印 10 加される。

【0023】前記充電回路320は、入力電圧をより低 い電圧に変換してリチウムイオンパッテリBATに印加 する。制御及び監視回路360は、前記パッテリBAT の電圧及び電流を感知し、前記感知された信号に基づい て適切な制御信号を発生して前記充電回路320に供給 する。さらに、前記制御及び監視回路360は、前記バ ッテリBATの電圧を感知して前記パッテリBATの充 放電状態を点検し、前記バッテリの状態に対する情報を 携帯電話の内部に伝達する。

【0024】図5は、本発明の他の実施形態による無接 点パッテリ充電器の詳細回路を示す。1次側変換器の核 心回路であるインバータ110は、ハーフブリッジ hal f-bridge) 直列共振インパータ (series resonant invert er)から構成される。

【0025】参照符号C3及びC4は、入力電圧を二分 するためのキャパシターであり、Q1及びQ2は、モス (MOS)型の電界効果トランジスタスイッチである。参 照符号T1は、磁気コアを使用する一般的な降圧変圧器 であり、T2は、本発明の実施形態によるPCB変圧器 である。

【0026】前記キャパシターC1の両端に印加された 電圧は、キャパンターC3及びC4によって二分され、 スイッチQ1及びQ2のスイッチング作用によって方形 波に変換された後、キャパシターC5を経て降圧変圧器 TIの1次側に印加される。ここで、前記キャパシター C5は、直流成分を遮断し、前記変圧器T1は、前記P CB変圧器T2の1次側に印加される方形波のサイズを 小さくする。

【0027】キャパシターC6は、共振キャパシターで あり、前記PCB変圧器T2の漏れインダクタンスと結 合して直列共振回路を形成する。前記PCB変圧器T2 の2次側に誘導された電圧は、前記整流回路を経て充電 回路320に印加される。

【0028】前記インバータ110は、下記のように、 前記PCB変圧器T2の短所が効果的に克服できる回路 方式を採択したことである。

【0029】第1に、降圧変圧器T1は、回路の効率が 低下することを防止する。前記PCB変圧器T2は、一 般の変圧器に比べて磁化インダクタンス (magnetizing i nductance)が小さい。従って、前記降圧変圧器で1を使

用しない場合、磁化電流(magnetizing current)が増加 しすぎて、前記インバータの効率が低下する。

【0030】第2に、前記PCB変圧器T2は、一般の変圧器に比べて溺れインダクタンスが比較的大きい。従って、前記インバータ110は、前記PCB変圧器T2の溺れインダクタンスを共振インダクタンスとして活用して回路の効能を高める。

【0031】一方、前記本発明の詳細な説明では具体的な実施形態に挙げて説明してきたが、本発明の範囲内で様々な変形が可能であるということは勿論である。従っ 10 て、本発明の範囲は前記実施形態によって限られるべきでなく、特許請求の範囲とそれに均等なものによって定められるべきである。

[0032]

【発明の効果】前述してきたように、本発明は、超薄型 PCB変圧器を使用する無接点バッテリ充電器を具現す ることにより、携帯用機器を小型化することができる。 前記PCB変圧器は、その材質によって重量及び高さを 低減することができ、それによって、前記携帯用機器を さらに小型化することができる。また、変圧器のサイズ 20 及び形態を応用機器に応じて適切に変形することができ るので、その形態を制約しないという長所がある。ま た、前記PCB変圧器は、磁気コアを使用しないため、 コストが低廉で、機械的な強度が高くなり、製品の信頼 度を高める。 *

*【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施形態によるPCB変圧器の構造を示す図である。

【図2】 図1のPCB変圧器を利用した携帯電話用の 無接点パッテリ充電器の側面図である。

【図3】 図1のPCB変圧器の2次側がパッテリバックの表面に装着された状態の示す図である。

【図4】 本発明の実施形態による携帯電話用の無接点 パッテリ充電器の概略的な構成を示す図である。

【図5】 本発明の他の実施形態による携帯電話用の無 接点バッテリ充電器の詳細図路を示す図である。

【符号の説明】

72 PCB変圧器

7.4 巻線

76 PCB変圧器の1次側

78 PCB変圧器の2次側

80 巻線

100 変換器

140 接触子

0 200 形態電話

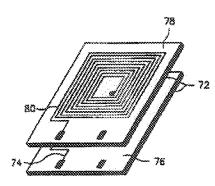
300 バッテリパック

320 充電回路

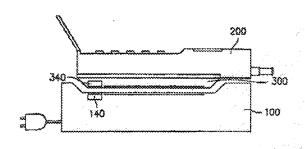
340 接触子

360 制御及び監視回路

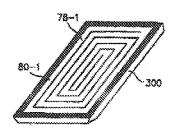




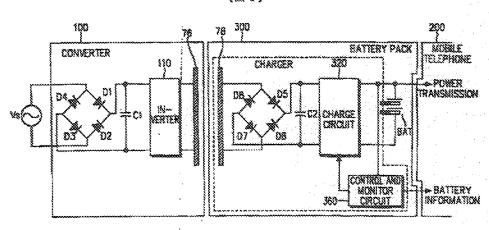
[2]



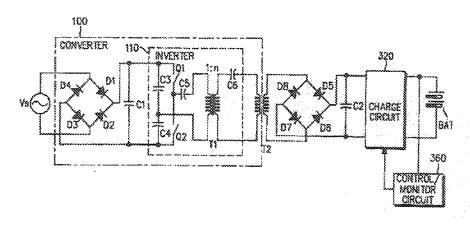
[図3]



[24]



[25]



フロントページの続き

(72) 発明者 車 豪寧 大韓民国慶尚北道臺德郡知品面栗田里301 番地12號 F ターム(参考) 5G003 AA01 BA61 CA01 CA11 FA03 GB04 5U030 AA01 AA10 AS06 AS14 BB09 DD05